

～未来に届け1.2.3!!～

2020年ごろからSDGsに取り組む企業、団体、教育機関、もっというと「家庭」にまで徐々に浸透しつつあり、私たちの住むここ半田市でも「このマークをよく目にするけどなんのこと?」「環境のことを考え直すって大事よね」といった声もちろほら聞こえてくるようになりました。

それでもまだまだ「SDGsってなに??」「よくわからないの」という声を聞くこともございます。

私に取り組んできた範囲で、また、私の周りではじまり出した取り組みなどを交え、「ご近所さん」目線でのSDGsを発信していければと思います。なんだかんだ言って結論!「SDGsはオモシロい 」ということをお伝えできればなーと考えております。最後までお付き合いよろしくお願いします。



一般社団法人SDGs design代表理事
SDGsビジネスコンサルタント
株式会社武田工業所 取締役
曽根香奈子 氏

■初めに「SDGs」って?おさらい

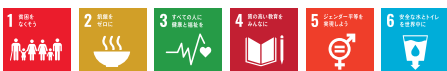
2015年9月、ニューヨークの国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開催されました。その際に「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」としてSDGs(エスディーゼーズ)が採択されました。これは大袈裟にいうと「人類が初めて一致団結して取り組む目標」ということ。

企業が、とか行政が、とかではなくて私たち一人一人が取り組んでいくことに大きな意味がある目標ということです。

■ごちゃごちゃしてて!よくわからん!!という方へ

大きく分けて3つの視点で見る目標になってるので少しだけ解説しますね。

① 貧困や飢餓、水の衛生など。開発途上国の基礎的な目標が中心



とはいえジェンダー平等については政治の分野で女性の社会進出が遅れていたたり、家事育児をする時間が女性平均7時間30分、男性が平均1時間30分と差があるという、先進国でも多くの課題があります。

② 働きがい、経済成長、技術革新など、お勤め先の会社やこの地域のまちづくりでも取り組むべき課題



また、つかう責任では一人ひとりの消費者にも持続可能な世界のために責任があることがわかります。この辺りがSDGsの特徴であり、これだけ大きな社会の流れとなっている要因です。

③ 気候変動、海洋資源、生物多様性などの課題



そして目標16では世界平和、平和とは戦争をしないことだけではなく心や体を傷つけ合わないこと。目標17では国や企業や人々の協力を呼びかけています。

曽根さんの今月の一言。

『一緒に楽しもうSDGs!』



SDGsは誰でも取り組みやすく、そして少しづつ取り組み始めています。

ただ、SDGsマークをつけているだけでは、誰も幸せになっていないかも!SDGsは心をチェンジするきっかけです。もっとおもしろく人生を楽しむ。もっとおもしろく生活に取り入れる。そんな気持ちで!

■まとめ

3つ目までの壮大なスケール!!ちょっと怯んでしまうかも…しかしそんなに難しいことじゃないのです。森を大切にする。海を大切にする。そんな気持ちをもって私たちが日々を過ごすことで、全人類が同様に働きかけをおこなったら??と思うとワクワクしませんか?全人類あわせて約70億人。2030年以降も子どもたち、孫たちがのびのびと暮らせるまちをつくりたい、ほんの少し意識を変えてだけで70億倍の力となって繋がっていくんです。

さあ一緒に取り組んでいきましょうね。